

レファレンス

コーナー

東南アジアのイスラーム

石井美千子

イスラームといえば中東というイメージが強い。しかし、東南アジアにもインドネシア、マレーシアを中心にイスラーム圏が形成されており、東南アジア全体で中東全体を上回るムスリム人口を抱えている。今回は、東南アジアのイスラームを理解するための文献を紹介したい。

まず、東南アジアのイスラーム世界への入門書として、今永清二著『東方のイスラーム』（風響社 一九九二年）をあげたい。イスラーム理解のための講演をまとめたもので、インドネシア、タイ及び中国の事情に加え、イスラームの宗派と思想、慣習などが説明されている。『ASEAN諸国におけるイスラームの政治経済への影響―日本の対ASEAN理解の促進―』（日本国際フォーラム 一九九六～九八年）は、三カ年にわたる研究会（中村光男主査）の成案

報告書（全三冊）。対象国はインドネシア、マレーシア、フィリピン、シンガポール、ブルネイ、タイ、ミャンマー。千葉正十編『アジアにおけるイスラーム法の移植』（成文堂 一九九七年）は、フィリピン・ムスリム社会（森正美）、インドネシア（小林寧子）、マレーシア（萩原宜之・小島一郎）におけるイスラーム法に関する論文、及びタイ・ムスリムと国王の宗教擁護に関する論文（石井米雄）を収録する。最近の雑誌特集では「特集Ⅱ東南アジアのイスラーム」（『海外事情』第五〇巻第三号 二〇〇二年三月）が、川島緑

「ミンダナオ危機とフィリピン社会」、井上治「インドネシアのイスラーム急進派」、吉野文雄「イスラームの経済思想」を収録している。世界最大のムスリム人口を擁するインドネシアについては文献も多い。タウフィック・アブドゥルラ編（白石さや・白石隆記）『インドネシアのイスラーム』（めこん 一九八五年）は、インドネシア地域のイスラーム社会についてインドネシアの学者が執筆した論文である。西野節男著『インドネシアのイスラーム教育』（勁草書房 一九九〇年）は、伝統的イスラーム教育機関「サントレン」について詳細に調べあげた著作である。服部美奈著『インドネシアの近代女子教育―イスラーム改革運動のなかの女性』（勁草書房 二〇〇一年）は、代表的なイスラーム女子校の歴史を通して、時代と共にイスラーム女子

教育の理念も変容してきたことを明らかにする。見市建著『インドネシア イスラーム主義のゆくえ』（平凡社 二〇〇四年）は、七〇年代以降の政治とイスラームの関係と、社会におけるイスラーム復興現象を描いている。バリ島爆弾事件等を起こしたとされるジャマア・イスラミヤにも言及している。マレーシアでは、イスラームが国教に定められている。『特集 マハティールの国家構想―主要政策の検討を通じて―』（『アジア経済』第三九巻第五号 一九九八年五月）は、鳥居高「マハティールによる国王・スルタン制度の再編成」、桑原尚子「金融制度へのイスラーム法の導入」等、イスラーム国家マレーシアの政治経済に関する論文を収録している。

フィリピンのミンダナオ島やスーラ諸島の先住民はムスリムであり、モロ民族解放戦線による分離運動が知られている。早瀬晋三著『海城イスラーム社会の歴史―ミンダナオ・エスノヒストリー』（岩波書店 二〇〇三年）は、フィリピン南部におけるイスラーム王国の成立から、アメリカの植民地主義支配によってイスラームがマイノリティ化されていくまでの歴史をたどっている。石井正子著『女性が語るフィリピンのムスリム社会―紛争・開発・社会的変容』（明石書店 二〇〇二年）は、一九七〇～八〇年代の分離独立運動の紛争にまきこまれた女性たちの語

りを通してミンダナオ島のムスリムをとりまく社会経済的変化を描こうとするもの。

仏教国タイでもマレーシアと国境を接する南部にはマレー系ムスリムが多く、政府の少数民族統合政策に強い抵抗を示しているが、西井涼子著『死をめぐる実践宗教―南タイのムスリム・仏教徒関係へのパースペクティヴ』（世界思想社 二〇〇一年）がとりあげているのは、ムスリムと仏教徒が穏健に共存している珍しい村の事例である。

やまもとくみこ著『中国人ムスリムの末裔たち―雲南からミャンマーへ』（小学館 二〇〇四年）は、雲南の回族がどのようにしてミャンマーに移り住んだのか、その子孫を訪ねて聞き取り調査をおこなったフィールドワークの記録である。

「東南アジアにおけるイスラーム」（『東南アジア研究』三七巻二号 一九九九年九月）は、東南アジアのイスラームに関する研究動向をレビューし、今後の課題を示す特集である。イスラームとともに伝わったアラビア文字で表記される東南アジア諸言語をジャワイという。「特集ジャワイ文書研究の可能性」（『上智アジア学』第二〇号 二〇〇二年）には、二〇世紀のジャワイ文書の文献目録や新聞・雑誌の紹介から、コンピュータでジャワイを書く方法まで盛り込まれており充実している。

（いしい みちこ）アジア経済研究所図書館